

科目名：歯科保健指導論Ⅳ		必	1 単位 (45 時間)
(Oral Health Guidance TheoryⅣ)			
履修年次/時期：3 年次 前期		授業形態：講義・演習	
主担当教員：小堀陽子（実務経験 歯科衛生士 28 年：実務経験から対象者が口腔の健康を守るための行動変容ができることを目標に、健康教育活動の知識・技術が身につくような授業をおこなっていきます。）			
担当教員：片岡あい子、関端麻美、伊ヶ崎理佳			
学修目的	集団を対象とし歯科衛生教育活動の場を理解し、必要な知識、技術および態度を身に付ける。 CP 1,2,3,4,5,6 に関連する。 科目 No. S3C11H04		
この科目 が目的と している DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP		
	○： この講義・演習・実習と関連がある DP		
到達目標	① 地域歯科保健における健康教育や保健指導の概要を説明できる。 ② 地域歯科保健対策の現状を理解し、集団指導のための情報収集法と活用について学ぶ。 ③ 集団の対象に適した指導目標、指導案、指導原稿、教育媒体を作成し、教育現場で実践の方法を学ぶ。 ④ 集団に対する伝達方法を説明できる。		
授業概要	歯科衛生教育活動の場で、人々が歯・口腔の健康を維持・増進させるために生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動に変容できるよう、専門的立場から個人や集団に対して支援・助言できる能力を養う。		
評価方法	本試験(50%)、実習点(50%)の総合評価を行う。 試験に対するフィードバックは掲示で行う。		
予習・ 復習時間	【予習】— 【復習】—		
教科書	『歯科予防処置論・歯科保健指導論』 全国歯科衛生士教育協議会編 医歯薬出版 『口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学』 全国歯科衛生士教育協議会編 医歯薬出版 『歯科衛生士講座 小児歯科学』 新谷誠康編集主幹 永末書店		
参考書	関連専門科目テキスト、参考書 随時紹介します。		
問い合わせ 連絡先	小堀 陽子 月～金 16:20～17:00 3号館 2 階教員研究室 kobori@kdu.ac.jp 片岡 あい子 月～金 16:20～17:00 3号館 2 階研究室 kataoka@kdu.ac.jp 関端 麻美 月～金 16:20～17:00 3号館 2 階教員研究室 sekibata@kdu.ac.jp 伊ヶ崎 理佳 火～金 16:20～17:00 3号館 2 階研究室 ikazaki@kdu.ac.jp		

	* 不在時はメールにて連絡をください。
--	---------------------

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 A 班 (/) B 班 (/)	オリエンテーション 地域歯科保健活動における健康教育 ①健康教育の対象と場の特徴を概説できる。 ②健康教育の進め方を説明できる。 ③健康教育に必要な情報を収集できる。	〔予習〕 学齢期の口腔内状況、口腔清掃法を理解しておく 〔キーワード〕 地域歯科保健、臨地実習、健康教育、情報収集、指導案、原稿、媒体	講義 ○伊ヶ崎
2 A 班 (/) B 班 (/)	集団指導法（対象の把握①） ①担当する対象の把握をする。 ②指導案、媒体、指導原稿を説明できる。	〔キーワード〕 コミュニケーション、 グループワーク、指導案、原稿、媒体	演習 ○小堀 片岡 関端 伊ヶ崎
3・4 A 班 (/) B 班 (/)	集団指導法（対象の把握②） ①担当する対象の把握ができる。	〔予習・復習〕 対象学年の一般的特徴、口腔の特徴、 口腔清掃法 〔キーワード〕 コミュニケーション、 グループワーク、指導案、原稿、媒体	演習 ○小堀 片岡 関端 伊ヶ崎
5・6 A 班 (/) B 班 (/)	集団指導法（指導案の作成①） 指導案を作成する。	〔予習・復習〕 指導案 〔キーワード〕 コミュニケーション、 グループワーク、指導案	演習 ○小堀 片岡 関端 伊ヶ崎
7・8 A 班 (/) B 班 (/)	集団指導法（指導案の作成②） 指導案を作成する。	〔予習・復習〕 指導案 〔キーワード〕 コミュニケーション、 グループワーク、指導案	演習 ○小堀 片岡 関端 伊ヶ崎
9・10 A 班 (/) B 班 (/)	集団指導法（原稿の作成①） 原稿を作成する。	〔予習・復習〕 指導案、原稿 〔キーワード〕 コミュニケーション、 グループワーク、原稿	演習 ○小堀 片岡 関端 伊ヶ崎
11・12 A 班 (/) B 班 (/)	集団指導法（原稿の作成②） 原稿を作成する。	〔予習・復習〕 原稿 〔キーワード〕 コミュニケーション、 グループワーク、原稿	演習 ○小堀 片岡 関端 伊ヶ崎
13・14	集団指導法（原稿の作成③）	〔予習・復習〕	演習

A 班 (/) B 班 (/)	原稿を作成する。	原稿 〔キーワード〕 コミュニケーション、 グループワーク、原稿	○小堀 片岡 関端 伊ヶ崎
15・16 A 班 (/) B 班 (/)	集団指導法（教育媒体の作成①） 教育媒体を作成する。	〔予習・復習〕 原稿、教育媒体 〔キーワード〕 コミュニケーション、 グループワーク、教育媒体	演習 ○小堀 片岡 関端 伊ヶ崎
17・18 A 班 (/) B 班 (/)	集団指導法（教育媒体の作成②） 教育媒体を作成する。	〔予習・復習〕 原稿、教育媒体 〔キーワード〕 コミュニケーション、 グループワーク、教育媒体	演習 ○小堀 片岡 関端 伊ヶ崎
19・20 A 班 (/) B 班 (/)	集団指導法（教育媒体の作成③） 教育媒体を作成する。	〔予習・復習〕 原稿、教育媒体 〔キーワード〕 コミュニケーション、 グループワーク、教育媒体	演習 ○小堀 片岡 関端 伊ヶ崎
21・22 A 班 (/) B 班 (/)	集団指導法（予行練習①）	〔予習・復習〕 指導案、原稿、教育媒体 〔キーワード〕 コミュニケーション、 グループワーク	演習 ○小堀 片岡 関端 伊ヶ崎
23・24 A 班 (/) B 班 (/)	集団指導法（予行練習②）	〔予習・復習〕 指導案、原稿、教育媒体 〔キーワード〕 コミュニケーション、 グループワーク	演習 ○小堀 片岡 関端 伊ヶ崎